

《公告第529号》 令和元年度収入支出決算報告

令和元年度収入・支出決算及び決算残金処分につきまして、第119回組合会にて書面決議にて承認されましたので、公告いたします。

健康保険

《適用》被保険者 6,197名

令和元年度は、6月にバーガーキングの脱退により、被保険者数は299名減となりましたが、その他事業会社による増加分があり差し引き被保険者数6,197名、前比97.5%（▲174名）となりました。

《収入》29億4千万円

被保険者数は減少したものの、標準報酬月額の上アップ及び事業交付金の増加により2,940百万、前比99.7%となりました。

《支出》26億2千万円

保険給付費（医療費）は減少（前比98.7%）し、1,376百万支出となりました。国への納付金は1,054百万円で39百万増加しました。保険料収入に対する割合は36.8%となっています。加入者の皆様の健康増進のために保健事業費は増加しました。

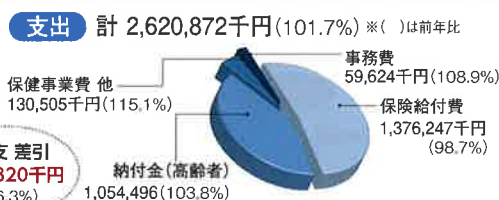
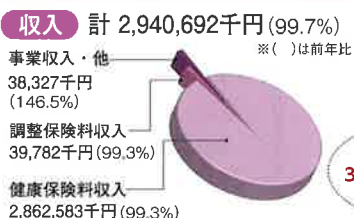
《収支差引額》3億2千万円

全体の収入差し引き額は320百万円の黒字となりました。

しかしながら、2年度の国への納付金が増加するため、大部分が次年度へ繰り越されます。

準備金…………… 50,000千円  
 別途積立金…………… 51,773千円  
 繰越金…………… 217,977千円  
 財政調整繰越金…………… 70千円  
 （令和2年度予算に収入計上する）

基礎数値	前年比	予算費
被保険者数(人)	6,197 97.3%	96.1%
標準報酬月額(円)	321,412 101.7%	101.2%
総標準賞与額(千円)	6,906,320 101.0%	101.1%
保険料率(%)	95.00 100.0%	100.0%



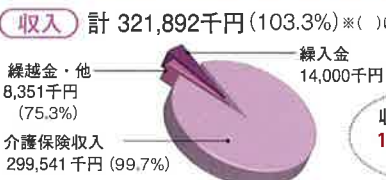
収支差引 319,820千円 (86.3%)

介護保険

《概要》令和元年度予算編成時に介護納付金の増加が見込まれたため、繰入金+14百万円を収入計上し納付金の支払に対応しました。

令和2年度以降も介護納付金の増加が避けられないため、令和2年度予算編成時に介護保険料率を1.62%から1.82%へ料率を上げて対応することとしました。

基礎数値	前年比	予算費
被保険者数(人)	3,378 98.1%	96.9%
標準報酬月額(円)	350,976 101.3%	100.5%
総標準賞与額(千円)	4,293,864 101.6%	100.9%
保険料率(%)	16.20 100.0%	100.0%



収支差引 1,468千円 (31.6%)

健保連発表による令和2年度健保組合(1,389組合)の予算集計結果では、経常収支差引額は2,316億円の赤字となる見込みで前年度と比べると66組合増の916組合が赤字となり、全体の66%を占める状況で、健康保険組合の経営は更に厳しくなると予想されます。新型コロナの蔓延による経済の低迷から来る保険料収入の減少も危惧されます。

また、2022年度には団塊の世代が75歳に到達し始め、後期高齢者支援金等の拠出金の大幅な増加も見込まれます。当保険組合も今後非常に厳しい運営を迫られています。医療費や支援金の増加に対して的確な対応を執り行っていく、財政基盤の安定確保に努めて参ります。一方では本来の目的である加入者の皆様の健康増進を図る保健事業を充実させてまいります。ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

《保険給付費推移》



法定給付費に関し、2019年度実績は、2013年度比110.7%。2018年度から増加傾向にあります。加入者の平均年齢は2013年度41歳、2019年度42.2歳、1.2歳上昇しています。平均年齢の上アップが給付費増の主要因です。付加給付費は33百万円ベースに微増減、大きな変化はありません。

《納付金推移》



後期高齢者納付金は、2019年672百万円、2013年比110%。2017年より増加傾向にあります。2022年以降、推定800万人といわれる団塊の世代が後期高齢者となっています。今後さらに後期高齢者の医療費が急増すると推測されます。前期高齢者納付金は変動幅が大きく決算に大きく影響を及ぼします。前期高齢者納付金は、当組合に加入している前期高齢者(65歳～74歳)の医療費と前期高齢者の加入割合をベースに算出されます。

## 令和元年度 保健事業実績報告

◆加入者の皆様の健康保持・増進を図る事業が「保健事業」です。人間ドックや主婦健診、特定保健指導、郵送健診、無料電話相談や健康ウォーキングなどがあります。

主婦健診…………… 750名  
人間ドック …… 425名  
脳ドック …… 48名  
インフルエンザ予防接種 …… 2,821名  
郵送健診…………… 1,218名

無料電話健康相談 …… 210件  
禁煙補助…………… 6名  
健康ウォーキング …… 1,400名  
特定保健指導…………… 194名  
保養施設利用補助…………… 1,718名

## ジェネリック医薬品使用の推進をしています。

処方される薬にジェネリック医薬品がある場合、ジェネリック医薬品での処方をお願いします。

ロツテ健保の加入の皆様のジェネリック医薬品の使用率は69.8%です。

全国のジェネリック医薬品の使用率は76.9%です。ジェネリック医薬品の使用率の目標を80%としております。ご協力宜しくお願いします。



### 2019年度ジェネリック医薬品使用実績

事業所	先発医薬品		ジェネリック医薬品	
	使用割合	金額割合	使用割合	金額割合
(株)ロツテ浦和工場	28.6	45.1	71.4	54.9
(株)ロツテ狭山工場	22.2	37.3	77.8	62.7
(株)ロツテ九州工場	28.6	41.4	71.4	58.6
(株)ロツテ滋賀工場	26.3	36.0	73.7	64.0
(株)ロツテ中央研究所	31.2	52.3	68.8	47.7
(株)ロツテホールディングス	35.1	49.6	64.9	50.4
(株)ロツテシティホテル	19.1	17.3	80.9	82.7
(株)ロツテ本社	34.2	49.7	65.8	50.3
(株)ロツテリア	29.5	49.9	70.5	50.1
ロツテ不動産(株)	17.0	35.4	83.0	64.6
(株)ロツテマリーンズ	38.0	52.9	62.0	47.1
(株)メリーチョコレートカンパニー	30.9	60.6	69.1	39.4
	30.2	48.4	69.8	51.6

ジェネリックは、新薬(先発医薬品)と有効成分や効能が同じなのに、新薬よりも価格が安いお薬です!

皆様の負担が軽減されます。

かかりつけの医師や薬剤師にジェネリック医薬品を希望していることをお伝えください。

ジェネリック医薬品は新薬より30~50%安い価格に設定されています。(薬品毎にちがいます)

《公告第525号・526号・527号・528号》

## 第26期 ロツテ健康保険組合理事・議員紹介

令和2年6月に決定しました第26期の選定議員及び互選議員ならびに理事の方々を紹介します。

任期は2年間となっております。皆様宜しくお願い申し上げます。

選定議員			互選議員		
理事長	高崎 誠司	(株)ロツテ総務部	理事	新藤 正久	(株)ロツテ総務部
常務理事	清野 康代	ロツテ健康保険組合	理事	川端 聡	労組中央執行委員長
理事	小綱 弓太	(株)ロツテ労務部	理事	宇佐美優也	狭山工場
理事	安本 勝美	ロツテリア	理事	太田 祥己	浦和工場
理事	木村 康彦	(株)ロツテ総務部	理事	佐々木敏徳	(株)ロツテ業務部
監事	山田 謙一	(株)ロツテ人事部	監事	伊崎田 亮	狭山工場
議員	清水 佳男	ロツテHD総務人事部	議員	村松 崇広	(株)ロツテ営業本部
議員	佐々木宣明	浦和工場	議員	森田 宅麻	九州工場
議員	市川 和秀	九州工場	議員	宿谷 和義	滋賀工場
議員	原田 雅之	中央研究所	議員	勝俣 雅人	狭山工場
議員	福島 清隆	メリーチョコレートカンパニー	議員	境田 力	千葉ロツテマリーンズ
議員計…11名 内理事…5名			議員計…11名 内理事…5名		